

平成27年12月21日

答申第653号

1 再検討の求めに至る経緯

視聴者より、平成26年1月に実施した『3か年の基本方針』の達成状況を測る世論調査について、「1 設問ごとの5段階評価を集計したもの（評価、評価者数）、2 設問ごとの各年代別の評価、評価者数、3 調査手法（電話や留置方法）、サンプル構成数（男女別、職業別、年代別等）、4 調査実施方法が『層化2段無作為で抽出』の実施手順、5 調査結果が統計的に有意であるために設定した最低限の回収目標数、6 各都道府県単位の調査対象数及び回答者数、7 各指標の標準誤差の数値」の開示の求めがあった。

NHKは、1、3、4および7は開示したが、2および6は文書を取りまとめていないため、5は「最低限の回収目標数」を設定していないため、いずれも文書が存在せず開示することができないとした。

これに対して、視聴者から再検討の求めがあった。

2 NHKの見解の要旨

再検討の求めの文書はいずれも存在しないため、開示することができない。

3 審議委員会の判断

再検討の求めの文書はいずれも存在しないと認められ、不開示としたNHKの取り扱いは妥当である。

4 審議の経過

平成27年12月21日（第230回審議委員会）

第673号諮問、審議、答申